

知床世界自然遺産地域連絡会議について

1. 目的

知床世界自然遺産の適正な管理のあり方を検討するとともに、効果的な保全管理、普及啓発等を推進することを目的として、関係機関の連絡・調整を図るための会議。

2. 会議の構成

(1) 構成機関・団体

①関係省庁

環境省釧路自然環境事務所、林野庁北海道森林管理局

②地方公共団体

北海道環境生活部／オホーツク総合振興局／根室振興局、
北海道教育庁／オホーツク教育局／根室教育局、斜里町、羅臼町

③地元関係団体

斜里第一漁業協同組合、ウトロ漁業協同組合、羅臼漁業協同組合、
網走漁業協同組合、ウトロ地域協議会、知床ガイド協議会、(公財)知床財団

(2) オブザーバー

海上保安庁第一管区海上保安本部、国土交通省北海道開発局、
国土交通省北海道運輸局、知床世界自然遺産地域科学委員会委員長

知床世界自然遺産地域 適正利用・エコツーリズム検討会議について

1. 目的

知床世界自然遺産地域の適正な利用およびエコツーリズムの推進を図り、多様な野生生物を含む原生的な自然環境を後世に引き継いでいくため、学識経験者、関係行政機関、地域関係団体による検討会議を設置する。

2. 検討会議の構成

検討会議は、「知床世界自然遺産地域科学委員会 適正利用・エコツーリズムWG」と「知床世界自然遺産地域連絡会議 適正利用・エコツーリズム部会」の合同開催により組織する。

事務局は環境省釧路自然環境事務所、林野庁北海道森林管理局、北海道が務める。また、検討会議の座長は、適正利用・エコツーリズムWG座長が務める。

○適正利用・エコツーリズムWG委員（敬称略）

愛甲 哲也 北海道大学大学院農学研究院 准教授

石川 幸男 弘前大学白神自然環境研究所 教授

小林 昭裕 専修大学経済学部 教授

敷田 麻実 北陸先端科学技術大学院大学 教授【座長】

庄子 康 北海道大学大学院農学研究院 准教授

中川 元 斜里町立知床博物館 前館長

間野 勉 北海道立総合研究機構環境科学研究センター 自然環境部長

○適正利用・エコツーリズム部会

①地元関係機関

ウトロ地域協議会、知床斜里町観光協会、知床羅臼町観光協会、知床ガイド協議会、
(公財)知床財団、知床自然保護協会、斜里山岳会、羅臼山岳会、羅臼遊漁釣り部会、
知床小型観光船協議会、知床羅臼観光船協議会、(一財)自然公園財団知床支部

②関係行政機関

斜里町、羅臼町、環境省釧路自然環境事務所、林野庁北海道森林管理局、北海道

3. 検討会議の進行等

検討会議は座長が招集し、議事進行を行う。また、検討会議は原則として公開とする。